

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		在宅障害者支援事業費[障害者食事サービス事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号	7	
事業の種別		☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名		障害福祉		課 障害福祉		係		課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号		2 - 3	
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)		55	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	買物や炊事が困難な障害者のみの世帯 身体障害者手帳2級以上、愛の手帳4度以上、 精神保健福祉手帳2級以上の者			身体障害者手帳2級以上、愛の手帳4度以上、 精神保健福祉手帳2級以上の者 →					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	安心して在宅生活を送れるようにする。			利用者数/対象指標の人数 →					
指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	委託事業者による昼食の配食と安否確認。 自己負担：一般世帯＝500円、生活保護世帯＝370円 実際の単価との差額と生活保護世帯補助分(130円)を 市が負担する。			利用者数 →					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2,563	2,596	2,691			
	成果指標	②の数値	%	0.4	0.3	0.2			
	目 標	②の目標値							
目標値設定の考え方									
対象者に適正にサービスを実施する。申請に対して適正にサービスを利用させる事業であることから、「目標値」の設定についてはなじまない。									
3 経費	活動指標	③の数値	人	8	10	8			
	事業費(実績)		円	85,534	155,835	203,234	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。 その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	85,534	155,835	203,234			
		特定財源	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	412,200	415,500	419,000			
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	497,734	571,335	622,234				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成16 年度						
	(2) 環境の変化		制度開始当初は、社会福祉協議会の事業への補助として実施(高齢者と一体の事業)。昼食の配食であるが配食日数を平成22年度から週7日に拡充した。民間でも配食サービスが実施されるようになったため、平成28年度から民間事業者への委託事業とした。 現在、民間の食事提供企業による同様のサービスもあり、市として実施し続けるのか、状況に留意する必要がある。						

事業名称	在宅障害者支援事業費[障害者食事サービス事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特段の意見は寄せられていない。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	なし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	令和2年度の取組は特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	利用者は少ないが、定期的な食事の提供の他、本人の安否確認の意味も含めて重要な役割を担っている。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 障害者福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 本事業の必要性等を周知し、利用者の増加を図る。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	障害当事者や障害福祉サービス事業者への周知を行う。 近隣市の同様の取り組みを研究する。			